

令和7年度後期高齢者の適正服薬支援事業に関する三師会合同研修会 開催要領

1 目的

本県の実情に即した適正服薬支援体制を構築し、重複服薬等による薬物有害事象等の発生防止による被保険者の健康の保持増進のために、県内での動きやポリファーマシーの予防等について、医療機関や行政・介護関係者等の関係者間で情報共有を図ることにより、適正服薬に係る地域での連携体制づくりや支援の一助とする。

2 主催・共催

主催：鹿児島県後期高齢者医療広域連合

共催：鹿児島県医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会

3 日 時

10月1日（水） 19:00～21:00

4 会場・方法（県医師会の機器を借用し、県薬剤師会の ZOOM アカウントを使用）

鹿児島県医師会館 3 階中ホール1

来場（100 名まで）及びインターネットオンライン中継のハイブリッド方式で実施

5 対 象

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、介護支援専門員等高齢者の服薬支援に関わる専門職等

6 会次第

- | | |
|---------------------------|-------------|
| (1)開会（挨拶） | 19:00 |
| (2)説明「適正服薬支援に係る取組について」 | 19:05～19:20 |
| 鹿児島県後期高齢者医療広域連合 業務課保健事業班 | |
| (3)取組報告 適正服薬支援に係る県薬剤師会の取組 | 19:20～19:40 |
| 鹿児島県薬剤師会 | |

(4)講演：「地域におけるポリファーマシー対策の推進に向けて」 19:45～20:55

（講演60分、質疑応答10分）

- <希望する内容等>

 - 高齢者の薬物療法におけるポリファーマシーの特徴
 - ポリファーマシー対策推進に向けた国の動き
 - 他都道府県での地域ポリファーマシーコーディネーターの設置運用の状況
 - ポリファーマシー対策を進めていくために
 - 地域において多職種が連携して服薬支援を進めるときのコツ 等

講師：秋下 雅弘 先生

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 理事長兼センター長

※ 講師は厚労省の高齢者医薬品適正使用検討会の構成員として中心的立場にあり、「高齢者の医薬品適正使用の指針」を策定にも携わっている。

(5)閉会

7 その他

- ・広域連合から各団体会長宛てに案内し、各団体から会員へ周知及び来場希望者の集約を依頼。